



大学院医学系研究科教授  
生命科学支援センター長  
**鈴木宏治**

すずきこうじ  
医学博士・薬学博士  
専門分野は、  
血栓止血学・分子病理学  
1947年生まれ



工学部教授  
**中村修平**

なかむらしゅうへい  
工学博士  
専門分野は、電子材料工学  
1948年生まれ



生物資源学部教授  
紀伊・黒潮生命地域  
フィールドサイエンスセンター長  
**大原興太郎**

おおはらこうたろう  
農学博士  
専門分野は、農業経営学  
1944年生まれ

◎特集／教授座談会

# 変革の道に立つ、 三重大学の 挑戦



～「21世紀COEプログラム」採択への戦略～

理事・副学長(研究担当) 大学院医学系研究科教授 工学部教授 生物資源学部教授  
森野捷輔 + 鈴木宏治 + 中村修平 + 大原興太郎

世界的な研究教育拠点の形成を支援する、文部科学省21世紀COEプログラム。次回の採択を目指し、三重大学では学内プロジェクト「三重大学COE」を進めています。今回は三重大学COEに参加する3学部の教授が集まり、21世紀COEプログラム採択に向けた戦略と今後の課題を語り合いました。

◎司会・進行  
亀岡孝治  
かめおかたかほる  
理事・副学長(情報・国際交流担当) 農学博士  
専門分野は、生物情報工学  
1955年生まれ

次なるCOE採択を目指す  
学内COEプロジェクト始動

**司会** 本日はお集まりいただきありがとうございます。現在、三重大学にとって文部科学省21世紀COEプログラムの採択は重要な課題となっています。そこで、COE採択がどのような意味を持つのか、そこから話を始めたいと思います。

**森野** 文部科学省21世紀COEプログラムは、学問分野毎に世界的な研究教育拠点を形成し、次代を担う若手研究者の育成を支援するため、平成14年度から16年度ま



で全国の国公私立大学の中から274件のプログラムが採択されました。三重大学の研究は残念ながら採択はされませんでした。第2ラウンドの21世紀COEプログラム採

択に向けた戦略は既に動き始めています。  
**中村** 21世紀COEに採択された大学は、人材や研究、社会連携などにおいて主導権を握ったと言えるのではないのでしょうか。優秀な若手研究者を公募するなど、人事面の活性化も進んでいます。

**鈴木** 大学院生のモチベーションにも違いが出てくるでしょう。進学率にも関係し、いずれ研究者の層の厚さに影響が出てくるのを懸念しています。

**大原** 地方大学でCOEに採択された拠点を見ますと、もともと個性的な研究をしていた大学が選ばれているように思います。

**森野** 確かに世界的に著名な研究者を揃えた大学か、地方の特色ある大学かという採択の方向性がうかがえます。

**鈴木** 地域密着型の研究は非常に重要でして、長年の地域連携研究の実績をもとにしたテーマでCOEに採択された大学もあります。必ずしも世界トップレベルだけが選ばれるということではなく、ユニークである・特色がある・伝統があるというのもCOEのキーワードでしょうね。

**中村** つまり、三重県と言ったら何だ?三重

大学と言ったら何だ?という特色づくりが欠かせないということです。



**大原** 生物資源学部で言えば、農水が融合した優れた研究基盤があるのですが、いかんせん焦点が絞りにくく、共同研究も研究者個々に進めていて、学部としての研究の柱立てなどができていませんでした。今後は学部・大学をあげた戦略的な共同研究が必要なのではと感じています。

**森野** そこで平成16年度から5ヵ年計画で始まったのが、三重大学COEプロジェクトです。三重大学内に21世紀COEプログラムを組めるようなチームを作ろうと学内で募集をかけ、医学部から一件、工学部と生物資源学部の研究は関連が深かったため、それらを合体させた一件をCOE-Aプロジェクトとして採択しました。



